

地域おこし協力隊

通信

VOL.122

集落支援担当 小林典之隊員



皆さま、こんにちは。地域おこし協力隊の小林です。早いもので、今月から協力隊2年目に入りました。

現在は、NPO法人ミナといかんの事務局を務めながら、集落支援業務にも取り組んでいます。今年度は、これまで以上に自分のやりたいことにも挑戦していけたらと考えています。

着任直後には、地域団体の皆さまからお誘いをいただき、カラオケ愛好会・パークゴルフ愛好会・釣りクラブに加入し、さまざまな経験をさせていただきました。団体に加入することで、地域活動と集落支援の仕事が密接につながっていることを実感しています。

カラオケ愛好会ではチャリティオークションの開催、パークゴルフ愛好会ではパークゴルフ場の環境整備、釣りクラブでは夏のワラベンチャー（釣り）での子どもたちのサポートなど、楽しみながら地域に貢献する素晴らしい仕組みができていると感じています。

そんな中、昨年11月には陶芸サークルにも加入しましたが、しばらく参加できずにいました。2月末に初めて活動に参加し、一から丁寧に指導していただきました。最初に何を作るか決めていなかったのですが、今年1月から知り合いに譲っていただいた猫2匹と暮らしており、この子たちの“エサを食べる速さ”が気になっていたため、ゆっくり食べてもらえるような「食べにくいエサ皿」を作ることになりました。皿の底に凹凸をつけ、エサが入り込むような形です。自分としては、ほとんどイメージ通りの形に仕上がったと思っています。次回は高台の内側をくり抜き、形作りが完了する予定です。粘土をこね、ろくろで形をつくる時間は、いろいろなことを忘れて無心になれる、とても心地よいひとときでした。

皆さんも、ぜひ陶芸にチャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか。

